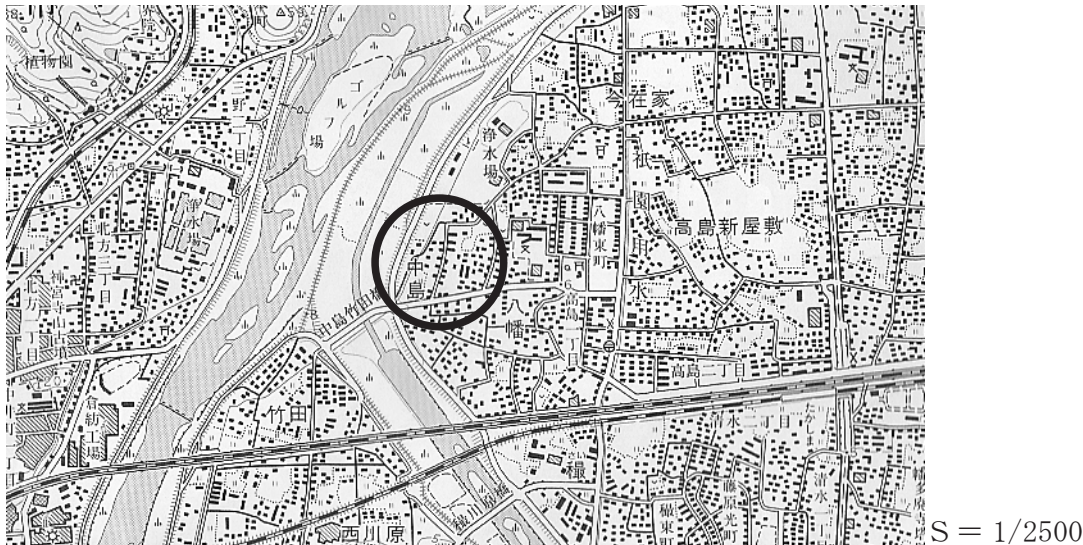


【遺跡の位置】



【遺跡の概要】

岡山市中区中島に位置する中島遺跡は、旭川東岸に位置する、中世～近世にかけて集落遺跡で、都市計画道路建設事業に伴い岡山県・市両教育委員会によりそれぞれ発掘調査が行われました。

旭川東岸に位置する中島遺跡では、自然堤防が形成され、土地が比較的安定する鎌倉時代の13世紀頃から集落が形成され、位置、姿を変えながら江戸時代、現代に至るまで続いています。室町時代～戦国時代の15世紀後半頃には、遺跡の南西部に約50m四方と考えられる堀をめぐらせた館が築かれました。本遺跡は、「備前軍記」に記された「中島の城」の所在地として知られており、幅5m以上もの堀をめぐらせたこの館は「中島の城」と考えられます。

中島遺跡の集落からは各時代を通じて青磁、白磁、青花などの輸入陶磁器や、常滑、渥美、播磨、瀬戸、美濃、唐津など国内外の他地域よりもたらされた遺物が多数出土しています。これらの出土遺物や、堀をめぐらせた館の存在、及び旭川に隣接する地理的環境から、中島遺跡は水上交通の拠点に営まれた、中世～近世にかけての集落遺跡と考えられます。

【文献】

- 岡山市教育委員会 2011年 『中島遺跡—都市計画道路竹田升田線建設事業に伴う発掘調査—』
- 岡山県教育委員会 2009年 『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告221 中島遺跡 宮南遺跡 国長遺跡 天神河原遺跡 都市計画道路竹田升田線改築に伴う発掘調査報告』

【交通】

宇野バス「中島」下車徒歩2分

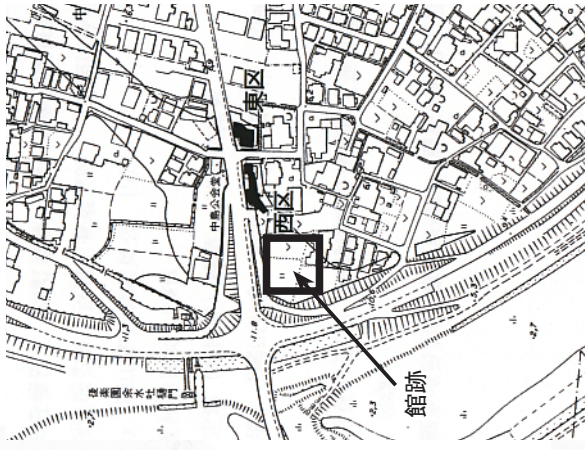


図1 調査区の位置

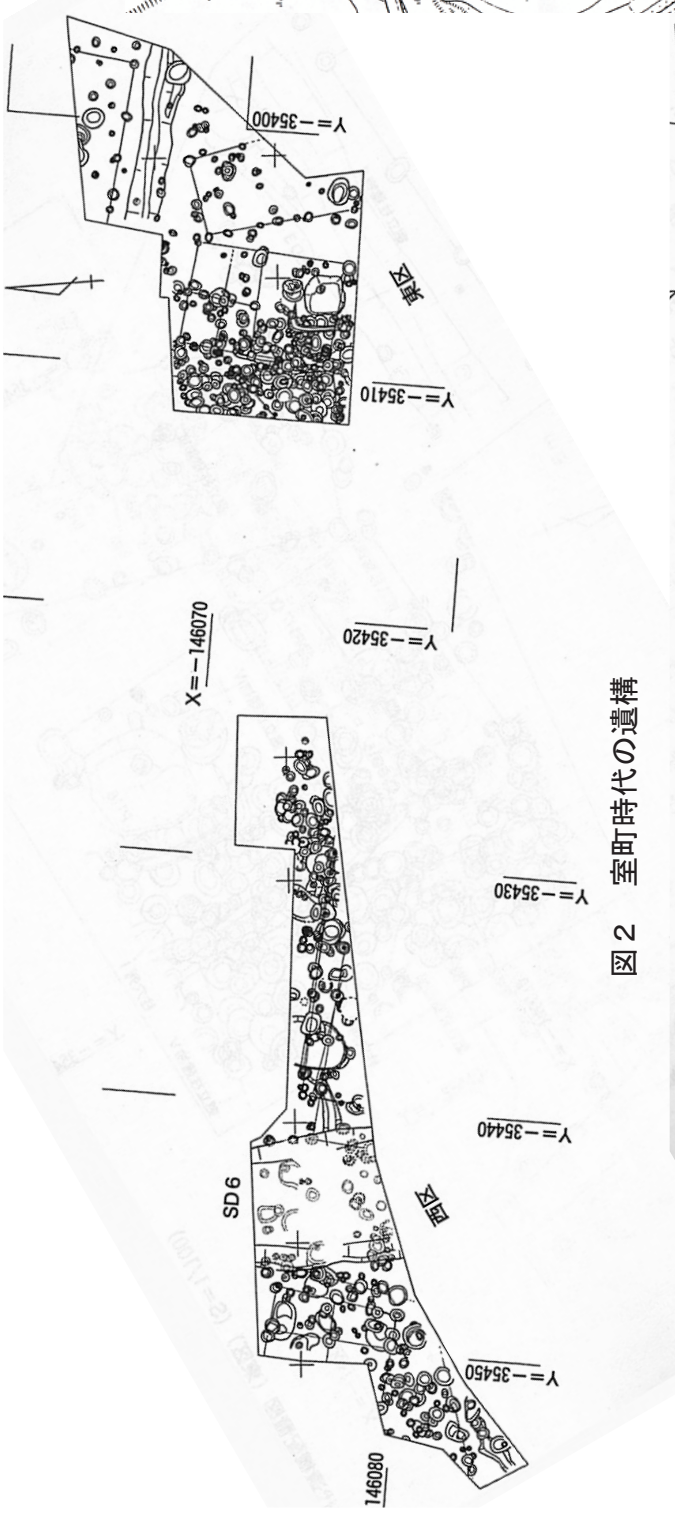


図2 室町時代の遺構

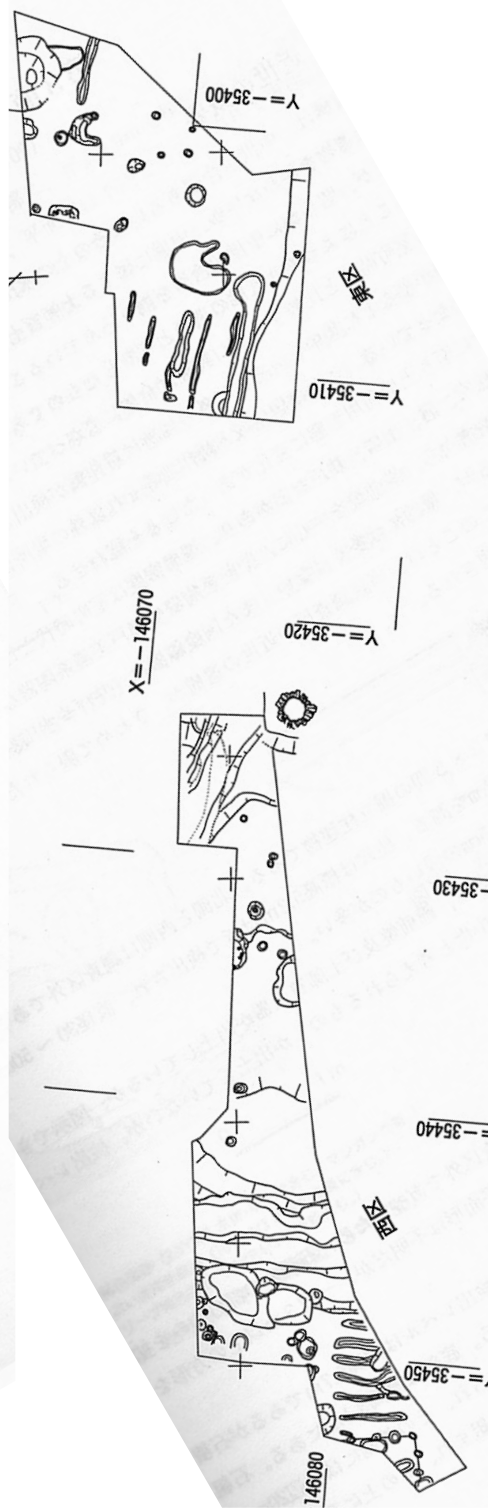


図3 江戸時代の遺構